

# マンAHLスマート・ レバレッジ戦略ファンド (愛称：スマレバ)

## 運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2022年4月12日)

(作成対象期間 2021年10月13日～2022年4月12日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2019年11月12日～2024年10月11日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズVI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド(円ヘッジ・クラス)」の投資証券(円建) ロ. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネープール・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			騰落率	公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金分配金	期騰落				
1 期末 (2020年 4 月13日)	9,864	0	△	1.4	—	99.2	111,167
2 期末 (2020年10月12日)	10,236	0		3.8	—	99.4	152,529
3 期末 (2021年 4 月12日)	10,603	0		3.6	—	99.8	123,392
4 期末 (2021年10月12日)	10,861	0		2.4	—	99.7	79,762
5 期末 (2022年 4 月12日)	9,967	0	△	8.2	—	98.9	60,821

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

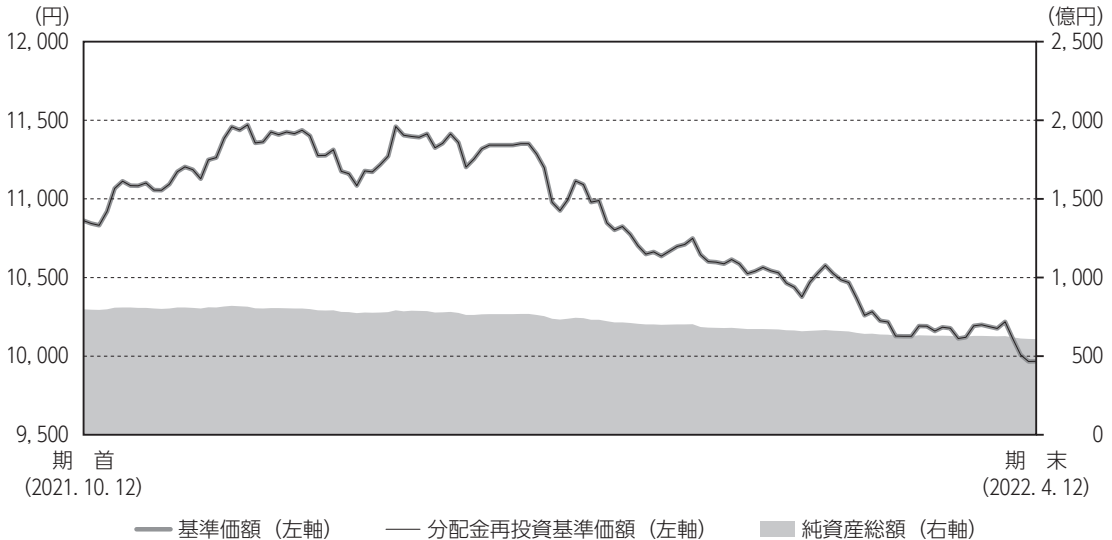
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,861円

期末：9,967円（分配金0円）

騰落率：△8.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、ファンドのエクスポージャーを機動的に調整した結果、主に債券セクターがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
(期首)2021年10月12日	円 10,861	%	—	%	99.7
10月末	11,203		3.1	—	99.7
11月末	11,175		2.9	—	99.5
12月末	11,342		4.4	—	99.8
2022年 1 月末	10,636	△	2.1	—	99.7
2 月末	10,377	△	4.5	—	99.4
3 月末	10,193	△	6.2	—	99.6
(期末)2022年 4 月12日	9,967	△	8.2	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2021. 10. 13 ~ 2022. 4. 12)

### 株式市況

世界の株式市況は横ばいで推移しました。

世界の株式市況は、当作成期首より、米国におけるCPI（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、2021年末にかけて上昇基調を維持しました。2022年に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で資源価格が急騰したことなどが懸念され、3月半ばにかけて株価は下落しました。その後は、FRBの利上げ決定で悪材料出尽くし観測が強まったことや、ロシアとウクライナによる停戦協議の進展期待もあり、反発しました。

### 債券市況

主要先進国の金利は、おおむね上昇（債券価格は下落）しました。

主要先進国の債券市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスの新変異株への懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。2022年に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が毎会合での利上げの可能性を否定しなかったことから利上げの織り込みが加速し、金利は上昇しました。2月後半は、ロシアがウクライナに侵攻したことで投資家のリスク回避姿勢が強まり金利は低下しましたが、3月には、米国で利上げが決定されたことに加えて政策金利見通しが引き上げられたことで、金利は上昇しました。また、対ロシア制裁などによる商品市況の高止まりから期待インフレ率が上昇したことも、金利上昇につながりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

引き続き、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）およびダイワ・マネープール・マザーファンドに投資し、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持します。

※アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）：マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド（円ヘッジ・クラス）

### ■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。

また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2021. 10. 13 ~ 2022. 4. 12)

### ■当ファンド

当ファンドは、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）およびダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めました。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行いました。

ファンドのエクスポージャーについては、債券と株式の同時下落の予兆に着目する自動ブレーキ機能（HEAVYモデル）と各市場の下落トレンドを検知する自動ブレーキ機能（モメンタムシグナル）が、2022年1月に発動しました。その後、HEAVYモデルはシグナルを弱め、3月にはブレーキの発動を解消しました。一方モメンタムシグナルは、債券を中心に発動を継続しました。

### ■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年10月13日 ～2022年4月12日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	602

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）およびダイワ・マネープール・マザーファンドに投資し、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持します。

### アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

### ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 10. 13～2022. 4. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0. 356%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 859円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0. 114)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0. 229)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 001	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	39	0. 358	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

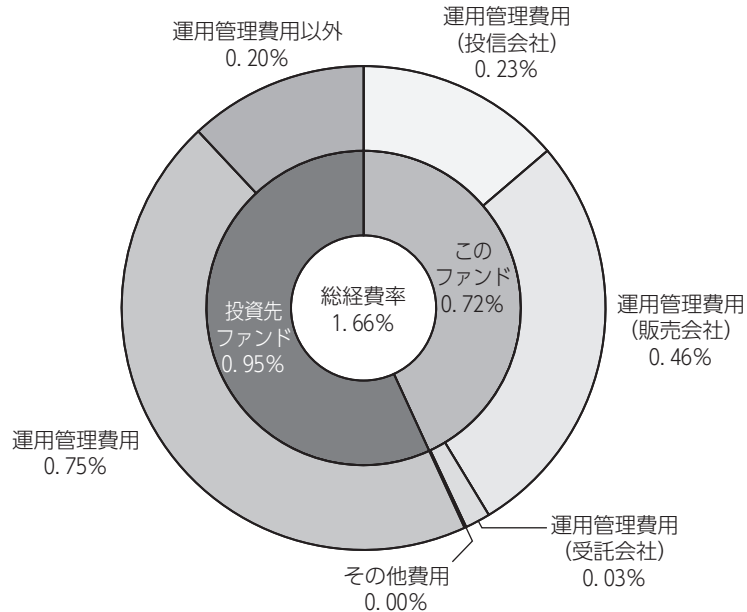
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.66%
①このファンドの費用の比率	0.72%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

# マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

## ■売買および取引の状況 投資信託証券

(2021年10月13日から2022年4月12日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	千口	千円	千口	千円
(邦貨建)	( )	( )	( )	( )
	—	—	1,040.717522	14,200,000
	( )	( )	( )	( )

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄 投資信託証券

(2021年10月13日から2022年4月12日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES (アイルランド)	1,040.717522	14,200,000	13,644

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (アイルランド) MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES	4,803.035187	60,161,906	98.9

(注1) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネープール・マザーファンド	1,000	1,000	995

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年4月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託証券	60,161,906 千円	98.2 %
ダイワ・マネープール・マザーファンド	995	0.0
コール・ローン等、その他	1,117,700	1.8
投資信託財産総額	61,280,602	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年4月12日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>61,780,602,065円</b>
コール・ローン等	617,700,490
投資信託証券 (評価額)	60,161,906,176
ダイワ・マネープール・マザーファンド (評価額)	995,400
未収入金	999,999,999
<b>(B) 負債</b>	<b>959,341,812</b>
未払金	500,000,000
未払解約金	198,029,999
未払信託報酬	260,182,679
その他未払費用	1,129,134
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>60,821,260,253</b>
元本	61,020,432,922
次期繰越損益金	△ 199,172,669
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>61,020,432,922口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	9,967円

\* 期首における元本額は73,437,912,675円、当作成期間中における追加設定元本額は4,048,901,501円、同解約元本額は16,466,381,254円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,967円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は199,172,669円です。

■損益の状況

当期 自 2021年10月13日 至 2022年4月12日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 225,271円</b>
受取利息	26,622
支払利息	△ 251,893
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 5,282,763,166</b>
売買益	493,553,355
売買損	△ 5,776,316,521
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 261,311,813</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 5,544,300,250</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>3,270,239,474</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>2,074,888,107</b>
(配当等相当額)	( 406,525,954)
(売買損益相当額)	( 1,668,362,153)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 199,172,669</b>
次期繰越損益金 (G)	△ 199,172,669
追加信託差損益金	2,074,888,107
(配当等相当額)	( 406,525,954)
(売買損益相当額)	( 1,668,362,153)
分配準備積立金	3,270,574,884
繰越損益金	△ 5,544,635,660

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	406,525,954
(d) 分配準備積立金	3,270,574,884
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,677,100,838
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,677,100,838
(h) 受益権総口数	61,020,432,922口

マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド (円ヘッジ・クラス)

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）はアイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズVI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド (円ヘッジ・クラス)」の投資証券（円建）に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

(注) 2022年4月12日時点で入手し得る直近の決算期分を記載しております。

貸借対照表

2020年12月31日

	(US\$)
<b>資産</b>	
現金および現金同等物	629,759,920
ブローカー預託金	435,453,105
損益通算後の金融資産評価額	638,630,701
未収利息	807
その他資産	612,088
<b>資産合計</b>	<u>1,704,456,621</u>
<b>負債</b>	
ブローカー預託借越	8,940,768
損益通算後の金融負債評価額	8,414,218
運用報酬未払金	1,075,850
その他未払費用、負債	1,523,045
<b>負債合計 (投資証券保有者に帰属する純資産を除く)</b>	<u>19,953,881</u>
<b>投資証券保有者に帰属する純資産</b>	<u>1,684,502,740</u>

損益計算書

2020年12月31日に終了した年度

	(US\$)
<b>収益</b>	
損益通算後の金融資産・負債の増減額	154,414,831
払戻費用	1,837,035
	<u>156,251,866</u>
<b>費用</b>	
運用報酬	10,091,025
事務管理手数料	4,053,476
その他費用	256,918
保管手数料	197,302
法律専門家報酬	30,364
監査報酬	22,579
役員報酬	5,480
	<u>14,657,144</u>
<b>投資証券保有者に帰属する純利益</b>	<u>141,594,722</u>

組入資産明細表  
2020年12月31日現在

## 損益通算後の金融資産評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	<b>先物取引 (a)</b>		
	<b>オーストラリア</b>		
893	Australian 10 Year Bond Futures March 2021	297,916	0.02
748	Australian 3 Year Bond Futures March 2021	34,832	0.00
		332,748	0.02
	<b>カナダ</b>		
736	CAN 10 year Bond Futures March 2021	285,950	0.02
	<b>ドイツ</b>		
79	DAX Index Futures March 2021	966,803	0.06
980	Euro-BTP Future March 2021	672,512	0.04
992	Euro-OAT Future March 2021	407,742	0.02
1,211	EURO-BOBL Future March 2021	67,528	0.00
958	EURO-BUND Future March 2021	958,188	0.06
477	SWISS MKT IX Future March 2021	1,986,860	0.12
91	EURO-BUXL 30 Year Bond Futures March 2021	310,255	0.02
1,214	EURO STOXX 50 March 2021	508,520	0.03
		5,878,408	0.35
	<b>香港</b>		
279	HSCEI Futures January 2021	459,372	0.03
124	HANG SENG Index Futures January 2021	625,109	0.04
		1,084,481	0.07
	<b>イタリア</b>		
232	FTSE/MIB Index Futures March 2021	545,434	0.03
	<b>日本</b>		
420	TOPIX Index Futures March 2021	1,408,744	0.08
	<b>オランダ</b>		
200	AMSTERDAM Index Futures January 2021	344,586	0.02
	<b>シンガポール</b>		
81	SGX Nifty 50 January 2021	7,771	0.00
377	NIKKEI 225 (SGX) March 2021	1,847,084	0.11
295	FTSE Taiwan Index January 2021	273,827	0.02
1,043	FTSE China A50 January 2021	738,901	0.04
		2,867,583	0.17
	<b>南アフリカ</b>		
323	KOSPI2 Index Futures March 2021	2,090,652	0.13
	<b>トルコ</b>		
2,634	BIST 30 Futures February 2021	169,456	0.01
	<b>英国</b>		
1,058	Long GILT Future March 2021	2,068,523	0.12

# マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	<b>米国</b>		
572	S&P500 EMINI Future March 2021	2,481,995	0.15
2,862	United States 2 Year Note (CBT) Bond Futures March 2021	723,953	0.04
197	NASDAQ 100 E-MINI March 2021	1,862,002	0.11
1,649	United States 10 Year Note (CBT) Bond Futures March 2021	369,508	0.02
		<hr/>	<hr/>
		5,437,458	0.32
	<b>先物取引合計</b>	<b>22,514,023</b>	<b>1.34</b>

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	<b>国債</b>		
	<b>フランス</b>		
50,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 13/10/2021	61,193,712	3.63
45,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 14/07/2021	55,257,414	3.28
40,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 19/05/2021	49,066,802	2.91
50,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 21/04/2021	61,299,243	3.64
50,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 24/03/2021	61,274,160	3.63
50,000,000	French Discount Treasury Bill 0% 16/06/2021	61,363,174	3.64
		<hr/>	<hr/>
		349,454,505	20.73
	<b>米国</b>		
50,000,000	United States Treasury Bill 0% 08/04/2021#	49,989,969	2.97
50,000,000	United States Treasury Bill 0% 14/01/2021#	49,999,383	2.97
50,000,000	United States Treasury Bill 0% 22/04/2021#	49,988,956	2.97
50,000,000	United States Treasury Bill 0% 25/02/2021#	49,995,588	2.97
50,000,000	United States Treasury Bill 0% 25/03/2021#	49,992,172	2.97
		<hr/>	<hr/>
		249,966,068	14.85
	<b>国債合計</b>	<b>599,420,573</b>	<b>35.58</b>

## 外国為替先渡契約 (b)\*\*

未収金	未払金	満期日	約定件数	未実現利益 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
€1,296	US\$1,544	2021/1/29	1	43	0.00
£10,119,000	US\$13,597,406	2021/1/14	1	236,424	0.01
£1,325	US\$1,768	2021/1/29	1	44	0.00
JPY165,775,978,728	US\$1,589,751,937	2021/1/29	2	16,451,971	0.98
US\$6,014,822	JPY620,000,000	2021/1/29	1	7,623	0.00
	<b>外国為替先渡契約に関わる未実現利益合計</b>			<b>16,696,105</b>	<b>0.99</b>
				<hr/>	<hr/>
	<b>損益通算後の金融資産評価額合計</b>			<b>638,630,701</b>	<b>37.91</b>

## 損益通算後の金融負債評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	<b>先物取引 (a)</b>		
	<b>オーストラリア</b>		
272	SPI 200 Futures March 2021	(272, 381)	(0.02)
	<b>カナダ</b>		
409	S&P/TSX 60 Index Futures March 2021	(729, 493)	(0.04)
	<b>フランス</b>		
402	CAC40 10 EURO Futures January 2021	(39, 291)	(0.00)
	<b>日本</b>		
186	JPN 10 Year (OSE) Bond Futures March 2021	(218, 655)	(0.01)
	<b>シンガポール</b>		
446	MSCI SING IX ETS January 2021	(31, 772)	(0.00)
	<b>南アフリカ</b>		
173	FTSE/JSE TOP 40 March 2021	(38, 855)	(0.00)
	<b>韓国</b>		
322	KOREA 10 Year Bond Futures March 2021	(203, 618)	(0.01)
554	KOREA 3 Year Bond Futures March 2021	(37, 301)	(0.00)
		(240, 919)	(0.01)
	<b>スウェーデン</b>		
1, 695	OMXS30 Index Futures November 2020	(254, 073)	(0.02)
	<b>英国</b>		
690	FTSE 100 Index Futures March 2021	(277, 829)	(0.02)
	<b>米国</b>		
1, 001	United States Long (CBT) Bond Futures March 2021	(1, 097, 614)	(0.07)
1, 025	United States Ultra (CBT) Bond Futures March 2021	(716, 437)	(0.04)
		(1, 814, 051)	(0.11)
	<b>先物取引合計</b>	<b>(3, 917, 319)</b>	<b>(0.23)</b>

## マン AHL スマート・レバレッジ戦略ファンド

### 外国為替先渡契約 (b)\*\*

未収金	未払金	満期日	約定件数	未実現損失 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
US\$379,601,817	€313,205,403	2021/1/14	1	(3,752,740)	(0.23)
US\$22,514,987	£16,857,015	2021/1/14	1	(530,480)	(0.03)
US\$1,948,708	JPY201,970,814	2021/1/14	2	(7,861)	(0.00)
US\$39,131,649	JPY4,060,000,000	2021/1/29	8	(205,818)	(0.01)
<b>外国為替先渡契約に関わる未実現損失合計</b>				<b>(4,496,899)</b>	<b>(0.27)</b>
<b>損益通算後の金融負債評価額合計</b>				<b>(8,414,218)</b>	<b>(0.50)</b>
<b>損益通算後の金融資産評価額合計</b>				<b>638,630,701</b>	<b>37.91</b>
<b>損益通算後の金融負債評価額合計</b>				<b>(8,414,218)</b>	<b>(0.50)</b>
<b>その他の純資産</b>				<b>1,054,286,257</b>	<b>62.59</b>
<b>投資証券保有者に帰属する純資産</b>				<b>1,684,502,740</b>	<b>100.00</b>

\*\* 外国為替先渡契約はバンク・オブ・ニューヨーク・メロンを相手方としています。

(a) 証券所取引デリバティブ商品

(b) OTC 金融デリバティブ商品

# 公式証券取引所に上場されているまたは他の規制市場で取引される以外の譲渡可能証券  
年未時点で保有するすべての他の投資は公式証券取引所に上場されている譲渡可能証券



<補足情報>

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年4月12日）現在におけるダイワ・マネープール・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネープール・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年10月13日～2022年4月12日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年4月12日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネープール・マザーファンド

## 運用報告書 第3期 (決算日 2021年12月9日)

(作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日)

ダイワ・マネープール・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

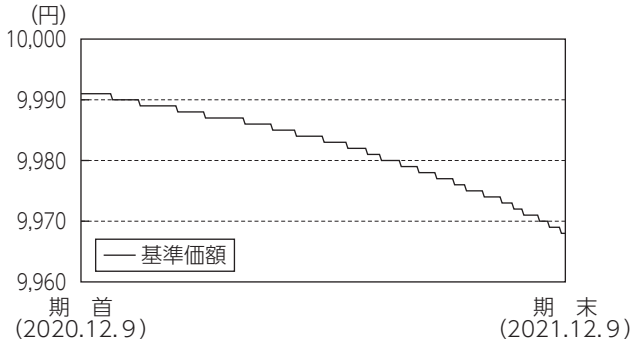
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2020年12月9日	9,991	-	-
12月末	9,991	0.0	-
2021年 1 月末	9,989	△0.0	-
2 月末	9,988	△0.0	-
3 月末	9,987	△0.0	-
4 月末	9,986	△0.1	-
5 月末	9,984	△0.1	-
6 月末	9,982	△0.1	-
7 月末	9,980	△0.1	-
8 月末	9,978	△0.1	-
9 月末	9,975	△0.2	-
10 月末	9,973	△0.2	-
11 月末	9,969	△0.2	-
(期末)2021年12月9日	9,968	△0.2	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,991円 期末：9,968円 騰落率：△0.2%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移し

ました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	996	100.0
投資信託財産総額	996	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ・マネープール・マザーファンド

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	996,827円
コール・ローン等	996,827
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	996,827
元本	1,000,000
次期繰越損益金	△ 3,173
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当り基準価額(C/D)	9,968円

\* 期首における元本額は1,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
マンAHLスマート・レパレッジ戦略ファンド 1,000,000円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,968円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,173円です。

### ■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△2,303円
受取利息	2
支払利息	△2,305
(B) その他費用	△ 1
(C) 当期損益金(A + B)	△2,304
(D) 前期繰越損益金	△ 869
(E) 合計(C + D)	△3,173
次期繰越損益金(E)	△3,173